

SGX808
ダイナミックルーティング

ヤマハ株式会社
2015年7月 第1.00版

更新履歴

更新日付	バージョン	内容
2015.07.15	1.00	初版発行

目次

1	概要	4
2	制約条件	4
3	対応機種とファームウェアリビジョン.....	4
4	詳細	5
4.1	Dynamic Routing Protocol (RIP).....	5
4.2	“Apply” ボタン	5
4.3	“Reset” ボタン.....	5
5	その他.....	6

1 概要

本ドキュメントは、SGX808 のダイナミックルーティング機能について記述したものです。SGX808 に搭載するダイナミックルーティングは、ルーティングソフトとして zebra を、ルーティングプロトコルとして RIPv2 を使用します。バージョンは以下の通りです。

zebra : 0.95a
ripd : 0.95a

2 制約条件

本機能において、以下の制約条件を設けています。

1. 対応するプロトコルは RIPv2 のみで、他のダイナミックルーティングプロトコルには対応しません。
2. 機能を有効にすると SGX808 の全ての I/F に対して RIP の送受信を実行します。I/F ごとに Disable/Enable 設定はできません。
3. NAT(Masquerade)機能が Enable(デフォルト)の場合、WAN 側の I/F に対してはパッシブモードで動作します。パッシブモードでは、受信した全ての RIP メッセージを解釈しますが、その I/F からは RIP メッセージを発信しません。
4. PPPoE 接続した場合は、WAN 側の I/F に対して必ずパッシブモードで動作します。
5. IPsec 経由で RIP の送受信は行いません。

3 対応機種とファームウェアリビジョン

本機能は以下の SGX808 のファームウェア上で利用できます。

表 3.1 対応機種とファームウェアリビジョン

機種	ファームウェア
SGX808	Rev.1.00.13 以降

4 詳細

[Network]タブ→左メニュー[Internet Settings]→[Advanced Routing]を押下することで、設定画面 (Dynamic Routing Settings) を開くことができます。静的ルーティング設定と同じ画面上に配置されます。

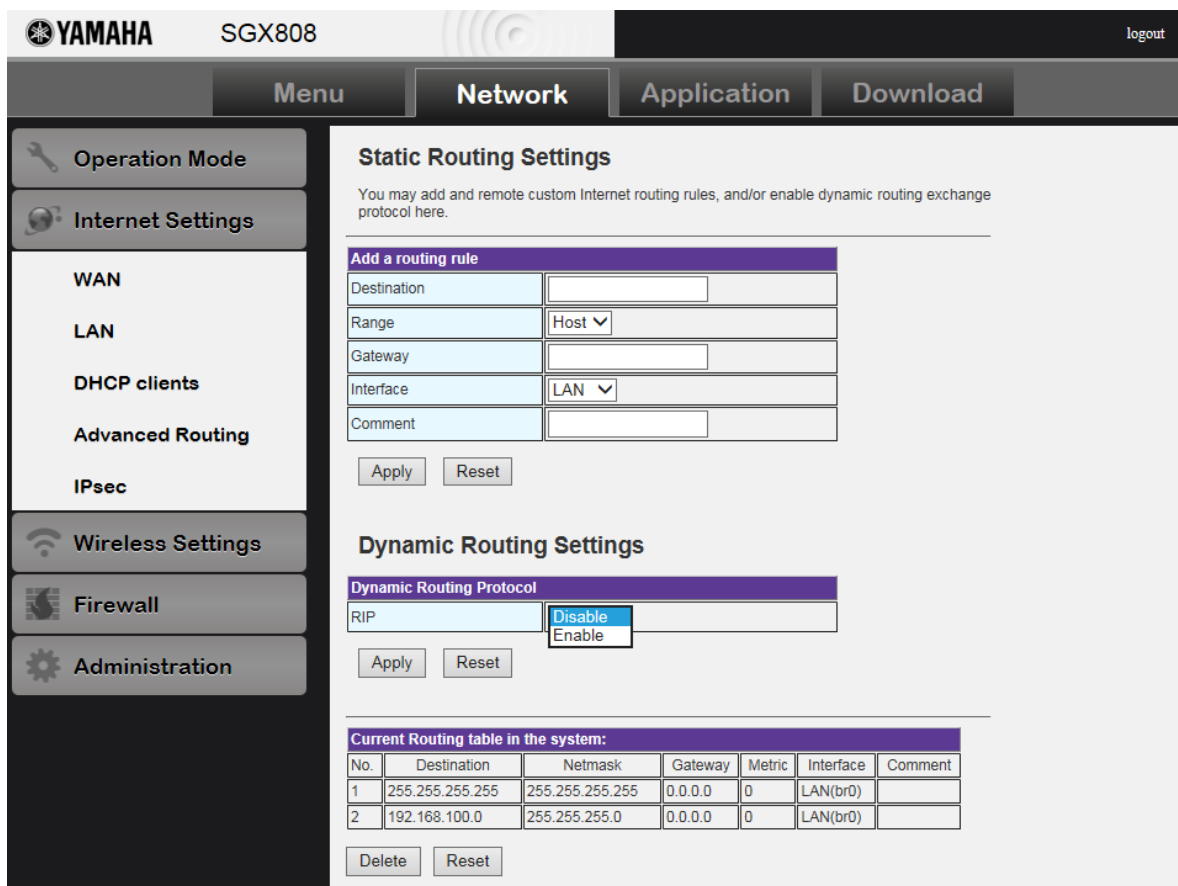


図 4.1 設定画面

4.1 Dynamic Routing Protocol (RIP)

“Disable”/“Enable”から選択設定します。デフォルトは“Disable”です。

4.2 “Apply” ボタン

設定した情報を記憶し、動作に反映します。

4.3 “Reset” ボタン

入力途中の設定情報を“Apply”ボタンを押す前の状態に戻します。

5 その他

その他、以下のように動作します。

1. "Disable"／"Enable"を切り替えた際、I/F の再起動は実行されません。
2. Web 設定画面上に表示されるルーティングテーブルは、自動では更新されません。